

# 2010年度 心コミ大賞 テキスト作品部門 審査結果並びに講評

<審査員> 大島、デビッドソン、田辺、片岡、谷

## 【テキスト作品部門】

心コミ大賞: Oshima Award 「誰かの楽園」 水谷 しおり

審査員特別賞 「蒐集者」 桜田 真琴

## 講評:

フィクションが4作品、ノンフィクションが1作品でした。語り口が上手で、全体的に粒ぞろいの作品となりました。審査委員会では思わず引き込まれながら読んだとの声も聞かれました。どうせなら全員に賞をあげたい、という意見もあったぐらいです。

文章力や構成には審査員一同感心させられました。書き手としての才能も感じました。一方、自分の体験や自分に近い世界を描いた作品が目立ち、意外性やインパクトについては物足りなさを感じました。社会に目を向けた骨太の作品にもぜひ挑戦してもらいたいと思います。自分の殻を破り、新しい世界に飛び込んでみてください。書くことを通して一度自分を壊し、そこから新たな自分を作りあげてください。

心コミ大賞: Oshima Award 「誰かの楽園」 水谷 しおり

心コミ大賞: Oshima Award には「誰かの楽園」を選出しました。

受賞作は、図書館の喪失をテーマにした学園物。青春のひとこまの切り取りが素敵で、文章の完成度も高く、人間関係もうまく書かれています。読書の魅力を伝えているところにも好感が持てました。タイトルをもう少し生かす展開があってもよかったのでは、校舎がなくなる淋しさを際立たせる何か欲しい、逆にまとまりすぎているのでは、などの意見もありましたが、最終的には小粒ながら完成度が高い点を評価して、受賞作品としました。

審査員特別賞 「蒐集者」 桜田 真琴

受賞作の「蒐集者」は将来性を買って審査員特別賞としました。ファンタジー系で、コレクター物というアイデアには新しさはないものの、若さゆえに溢れ出ている展開の仕方に共感した、もっとみがきかけられる可能性は大きい、語彙の選択が店の雰囲気合っている、といった評価が審査員からありました。高校生からの応募作品であり、今後の成長に大いに期待したいと思います。

他の応募作品への講評は以下の通りです。

「Very, Baby, Berry」 麻林 由

詩的な独特の雰囲気がある、生と死について深く掘り下げた感性に感動した、といった評価がありました。内容に少し不明な点があるのが残念でした。

「マニフェスト！」 笠井 佑介

若者に身近なテーマで展開が気になった、日常的ながら難しい題材をうまく表現している、同級生になじめない主人公の距離感がよく書けている、学校のゴシップなど重要な課題を取り上げている、などの評価がありました。「変人」ぶりの掘り下げがやや足りなかったのと、最後があっさりしすぎているところが惜しまれます。

「ついでのついでの世界見聞録 ～ニューデリー編～」 三田 翔一

臨場感溢れる描写がいい、旅人の心の動きや成長がよくわかり他のエピソードも読みたくなった、純粋に読んでいて面白いルポ、といった評価がありました。旅行記の一部なのか、作品として完結していないところが残念でした。